

平成21年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成20年11月11日

上場会社名 株式会社 大運
 コード番号 9363 URL http://www.daiunex.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 健一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 西川 秀夫
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月13日

上場取引所 大

TEL 06-6532-4101

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	4,143	—	△37	—	1	—	△254	—
20年3月期第2四半期	4,758	39.4	0	△99.9	13	△82.5	△17	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	△4.35	—
20年3月期第2四半期	△0.31	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第2四半期	5,926	—	2,453	41.4	—	—	41.90	—
20年3月期	5,956	—	2,628	44.1	—	—	44.88	—

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 2,453百万円 20年3月期 2,628百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	1.00	1.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
通期	9,450	0.0	177	—	125	—	72	—	—	1.23

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務情報】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務情報】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 58,643,375株 20年3月期 58,643,375株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 83,780株 20年3月期 81,567株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第2四半期 58,560,675株 20年3月期第2四半期 58,543,567株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用方針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。

業績予想の前提となる条件等については、2ページ【定性的情報・財務情報】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間（平成20年4月1日～9月30日）は、米国サブプライムローン問題に端を発した世界経済の減速傾向が本格化し、金融危機の影響は更に深刻なものになりました。わが国においては、世界経済の減速や円高進行から輸出が減少、企業収益の悪化により設備投資が縮小し、個人消費も落ち込んでおります。

当社の当第2四半期累計期間の営業収入は、4,143,249千円（前年同期比△615,375千円、△12.9%）となりました。一部の営業上の立替金を営業収入と営業原価の双方に含めて計上していましたが、第1四半期からの新システム導入に伴い当該立替額を正確に把握できることになったため、財政状態及び経営成績をより適切に表示すべく、損益計算書上は両建計上を行わないことに変更いたしました。これにより、従来の方法によった場合に比べ、営業収入、営業原価がそれぞれ849,680千円少なく表示されております。

前事業年度からの大手荷主の生産調整は一段落したものの、全般的な落込みを補うには至りませんでした。

また特別損失として投資有価証券評価損219,314千円、貸倒引当金繰入36,979千円、投資有価証券売却損1,276千円を計上しました。

この結果、当第2四半期累計期間の営業損失は37,811千円、経常利益は1,314千円、四半期純損失は254,711千円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

（流動資産）

当第2四半期会計期間末における流動資産は2,958,737千円となりました。前事業年度末比68,968千円増加しております。これは立替金の増加430,073千円、現金及び預金の減少121,520千円等によるものです。

（固定資産）

当第2四半期会計期間末における固定資産は2,967,802千円となりました。前事業年度末比98,617千円減少しております。これは投資有価証券の減少67,089千円等によるものです。

（流動負債）

当第2四半期会計期間末における流動負債は2,467,987千円となりました。前事業年度末比343,248千円増加しております。これは短期借入金の増加380,000千円等によるものです。

（固定負債）

当第2四半期会計期間末における固定負債は1,005,016千円となりました。前事業年度末比198,203千円減少しております。これは長期借入金の減少191,120千円等によるものです。

（純資産）

当第2四半期会計期間末における純資産は2,453,535千円となりました。前事業年度末比174,694千円減少しております。これは資本剰余金の減少477,123千円、利益剰余金の増加163,747千円、その他有価証券評価差額金の増加138,700千円等によるものです。

3. 業績予想に関する定性的情報

第2四半期累計及び通期の業績予想につきましては、平成20年5月20日の決算発表時に公表した予想を変更しておりません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積残高の算定方法

当第2四半期会計期間末の貸倒実績率が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積額を算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

③法人税等の算定方法

税金費用については、税引前四半期純損失であるため、年間の均等割を期間按分して計算しております。なお、法人税等調整額は法人税に含めて表示しております。

(2) 四半期財務諸表諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

②顧客である荷主が支払うべき海上運賃、関税及び消費税を当社が一時的に立替払いした場合、従来当該立替額を営業収入と営業原価の双方に含めて計上するとともに、営業未収金として表示しておりましたが、第1四半期からの新システム導入により当該立替額を正確に把握できることになったため、財政状態及び経営成績をより適切に表示するため、第1四半期会計期間から損益計算書上は両建計上を行わず、かつ貸借対照表上は立替金として表示することに変更いたしました。これにより、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期累計期間の営業収入、営業原価がそれぞれ849,680千円、営業未収金が207,787千円それぞれ少なく表示されるとともに、立替金が207,787千円多く表示されております。

1【四半期財務諸表】
 (1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,035,788	1,157,308
受取手形	6,326	17,604
営業未収入金	1,130,144	1,309,465
立替金	625,123	195,050
繰延税金資産	30,976	30,976
その他	132,651	182,018
貸倒引当金	△2,272	△2,654
流動資産合計	2,958,737	2,889,769
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	299,802	308,404
構築物(純額)	3,985	4,164
機械及び装置(純額)	3,528	2,364
車両運搬具(純額)	182,014	186,292
工具、器具及び備品(純額)	26,260	30,336
土地	576,183	576,183
有形固定資産合計	※1 1,091,775	※1 1,107,746
無形固定資産		
のれん	758,758	779,265
その他	11,310	12,519
無形固定資産合計	770,069	791,784
投資その他の資産		
投資有価証券	869,427	936,516
差入保証金	119,667	119,663
繰延税金資産	1,167	1,167
その他	382,016	340,448
貸倒引当金	△266,319	△230,907
投資その他の資産合計	1,105,958	1,166,888
固定資産合計	2,967,802	3,066,419
資産合計	5,926,539	5,956,188

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	143,274	150,214
営業未払金	687,567	649,689
短期借入金	740,000	360,000
1年内償還予定の社債	20,000	70,000
1年内返済予定の長期借入金	557,340	550,040
未払金	89,531	109,021
未払法人税等	27,483	45,618
賞与引当金	65,662	60,814
その他	137,128	129,342
流動負債合計	2,467,987	2,124,739
固定負債		
社債	—	10,000
長期借入金	814,760	1,005,880
退職給付引当金	125,574	110,391
その他	64,682	76,948
固定負債合計	1,005,016	1,203,219
負債合計	3,473,004	3,327,958
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,321,658	2,321,658
資本剰余金		
資本準備金	241,563	1,153,023
その他資本剰余金	434,336	—
資本剰余金合計	675,900	1,153,023
利益剰余金		
利益準備金	5,856	13,040
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△254,711	△425,643
利益剰余金合計	△248,855	△412,602
自己株式	△10,725	△10,705
株主資本合計	2,737,978	3,051,373
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△284,443	△423,143
評価・換算差額等合計	△284,443	△423,143
純資産合計	2,453,535	2,628,229
負債純資産合計	5,926,539	5,956,188

(2)【四半期損益計算書】
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
営業収入	4,143,249
営業原価	3,936,545
営業総利益	206,703
販売費及び一般管理費	※1 244,515
営業損失(△)	△37,811
営業外収益	
受取利息	988
受取配当金	13,056
保険返戻金	36,239
その他	11,646
営業外収益合計	61,930
営業外費用	
支払利息	21,624
その他	1,179
営業外費用合計	22,804
経常利益	1,314
特別利益	
固定資産売却益	1,492
償却債権取立益	3,967
特別利益合計	5,459
特別損失	
投資有価証券売却損	1,276
投資有価証券評価損	219,314
貸倒引当金繰入額	36,979
特別損失	257,571
税引前四半期純損失(△)	△250,797
法人税、住民税及び事業税	3,913
法人税等合計	3,913
四半期純損失(△)	△254,711

「参考資料」

前年同四半期にかかる財務諸表

(要約) 中間期損益計算書 (単位: 千円)

科 目	前中間会計期間 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 9 月 30 日)
	金 額
I 営業収入	4,758,624
II 営業原価	4,502,907
営業総利益	255,716
III 一般管理費	255,645
営業利益	71
IV 営業外収益	43,505
V 営業外費用	29,610
経常損失	13,966
VI 特別利益	34,242
VII 特別損失	47,034
税引前中間純利益	1,173
法人税等	19,152
中間純損失	△17,979